

力を合わせて取り組む

梅 雨明け間近の6月26日、「第2回大倉ふれあい体育祭」が開催されました。

老いも若きもみんな童心に帰り魚釣りゲームに熱中し、運搬リレーゲームに惜しみない声援を送りました。閉会式が終わり家路に就く参加者から、「とっても楽しかったわ!こんな催しを開いてくれてありがとう」などといった主催者冥利に尽きるお言葉をいくつもいただきました。

大倉まちづくり協議会では、ふれあい体育祭の他にも防災や交通安全に関わる事業、健康づくりのための

鈴木 啓之(大倉)
【協議会副会長】



事業、花植えやゴミゼロ活動といった美化運動事業などを展開し始めました。そして、少しずつですが大倉地区全体に当協議会の目的が理解され、みんなで大倉地区をより良い地域にしようという方向に歩み始めています。

『まちづくり』や『村おこし』では一般的に住みやすい地域、働きやすい地域の2つの面を育てる事が重要といわれています。つまりメンタル面での高揚と経済面の活性化です。大倉地区はもとも人情味にあふれ、団結心の強い地域性です。心をつなぐの部分は大丈夫です。

課題は経済面の活性化です。当協議会は経済的な活動に足を踏み込むのは制約があり、事業展開は慎重さが必要です。働きやすさという点での問題提起や意見交換、さらには特産物や匠の技の紹介といった広報活動など可能な範囲で参加していく考えです。

▲ふれあい体育祭の様子
(上：狙った絵札を釣り上げる、下：白熱の玉入れ)

まちのあしたをデザインする

市民協働最前線

まちづくり協議会(住民自治協議会という呼び名を用いているところもあり)は、現在市内に20協議会あります。活動内容は、それまでの地域活動を発展させたものや、その土地ならではのアイデアにあふれたものなど、さまざま。それらの活動の一端を、各協議会の皆さんからご紹介いただきます(年1回、順々に各協議会に登場していただきます)。

まちづくり協議会
現場レポート
File 4

東大戸地区まちづくり協議会

設立年月：平成25年6月
会長：武田 宏(大戸)

小学生と交流グラウンドゴルフ



武田 宏(大戸)
【協議会会長】

東 大戸地区まちづくり協議会の事業の中から、グラウンドゴルフ大会を紹介します。グラウンドゴルフは、一部の高齢者クラブなどで開催されていますが、ルールやマナーについてまだ十分に知られていません。そこで、「グラウンドゴルフの基礎知識」の冊子を独自に400部作成し、参加者全員に配布する

ことで理解を深めています。また、当地区では東大戸小学校と連携し、小学生と地区住民がグラウンドゴルフを通じて触れ合う機会を実現しています。平成27年度の実績として、大会や講習会を6回実施し、そのうち4回に小学生が参加しました。小学生の参加については、校長先生から授業の一部として実施してほしい旨の依頼を受け、9時から12時までの間で開催しました。すると後日、先生からこのような謝礼文をいただきました。

「最初は、子どもたちもお年寄りとの接し方やグラウンドゴルフのルールが分からず戸惑っていました。ですが、熱心に教えてもらい、いつの間にか真剣に聞き入っている様子でした。一緒に過ごすうち、お年寄りへの尊敬の気持ちや接し方を覚え、『お願いします』『ありがとうございました』などのコミュニケーションが自然と取れるようになりました」

地区住民の皆様からも「夫婦で参加できて最高でした」「楽しかったです。またお願いします」などの声が上がりました。事業の成功を実感しました。

誰でも参加できる楽しいスポーツ、グラウンドゴルフを今後も地域の交流の場として広めていきたいと思っています。



▲念入りの準備体操で大会に臨みます



▲ホールポストにボールを入れるのは意外と難しい?

地域をより安全で住みやすく



西岡 敏明（小見川）
【協議会会長】

人口2万3248人の小見川地区、そのうち中央地区が1万1122人で48%を占めています。さらに中央地区の65歳以上の人口は34%であり、市中でも高齢化率が高い地区になっています。この小見川中央地区の、18団体の代表が集まり、役員会を形成して議論を進めた結果、次の3部会が発足して活動を開始しました。

- ① 地域活性化部会
- ② 生活・安全・防災部会
- ③ 教育・文化・歴史部会

今回は、②の取り組みについて紹介します。児童の安全を守るため、小見川中央小学校内に防犯カメラ4台を設置し、平成27年11月から運用を開始しました。校舎周囲を監視できるようにになり、安全管理に役立っています。

また、従来の通学路安全マップの危険箇所を見て回ったところ、より危険な箇所があり、新たに安全マップを作成することに決まりました。小見川中央小学校を中心、11カ所を危険箇所と定め、写真撮影を行って安全マップを作成し、平成28年3月に配布しています。

現在、防犯ボランティアによるパトロール要員は7人です。11カ所の危険箇所すべてに人員配置できないことが大きな課題で、大きな子どもたちを守るためにも、パトロール要員の募集を行っています。

今後は、小見川中央地区の歴史や史跡についての調査、商店街の活性化、産業の活性化と人に優しい環境づくりなどに取り組んでいきます。地域の皆さんのご参加をお待ちしています。



▲通学路に立って小学生を見守っています



▲危険箇所を写真付きで分かりやすく説明

※本文に登場する人口は、平成28年4月現在の数字です
※割合は小数点以下を四捨五入しています

まち協自治協 Q&A

Qどんな活動でもできるの？

A まちづくり活動に取り組む前に、活動方針などをまとめた「地域まちづくり計画」を策定しています。その計画に基づいた事業であれば幅広く実施することができますが、宗教活動・政治活動・選挙活動などではできません。

Q事業費はどうしているの？

A 協議会は、地域のことを気軽に話し合える場として皆さんに協力をいただきながら、気張らず、楽しく、できることから、できる範囲で活動に取り組むことを心がけています。

地域の課題はいろいろありますが、地域に負担をかけない範囲で地域まちづくり計画に基づく事業計画・予算立てをして、市から事業補助金（基本額110万円に地区人口が千人増すごとに5万円を加算した額が限度額）を受け活動しています。

Q協議会の設立には時間がかかるの？

A まちづくり協議会は、地域内の自治会、地区社協、民生委員、PTAなど地域でさまざまな主体が集まって自発的に組織します。そのため、協議会設立には、各種団体の理解・協力と地域の皆さんの機運の盛り上がりが必要となります。

また、役員の成り手を探すのに、期間を要することがあります。

行政の相談窓口として、市役所と各支所に協議会の活動を支援する部署が置かれています。

岡佐原市民活動支援センター	☎(50)1213
小見川市民活動支援センター	☎(82)1116
山田市民活動支援センター	☎(78)2116
栗源市民活動支援センター	☎(75)2112

府馬小学区まちづくり協議会

設立年月：平成24年2月
会長：鈴木 一男（府馬）

実りある世代間交流を



鈴木 一男（府馬）
【協議会会長】

府

馬地区には国の天然記念物に指定された「府馬の大クス」があります。府馬小学区まちづくり協議会は、「大クスが見守る府馬のまち」語り、伝え、歴史に栄えるまちづくりを基本理念に掲げ、地域が丸となってまちづくり事業を推進しているところです。

協議会では、府馬小学校をメイン会場にさまざまな事業を展開しています。その中に、地域住民および家族相互の交流を目的としたスポーツイベント「FUMAスポーツフェス」があります。これは27年度に初めて主催したイベントでしたが、子どもから大人まで参加交流できた良いイベントになりました。

またこの日は、同時に地域防災安全活動のための炊き出し訓練や、救急講習、応急措置講習、文化伝承交流なども共催事業として実施され、実りのあった1日となりました。

今後もより多くの地域住民が参加できる事業を通じて世代間の交流を図り心が通うまちづくりを目指していききたいと思います。

今年も10月22日（土）に「FUMAスポーツフェス」が開催されますので、皆様の参加をお願いします。



▲AEDに挑戦



▲屋内で盛り上がったヘルスバレー